

造本装幀コンクール公式展示・書店フェア	1
第64回マス倫全国大会	1
インボイス発行事業者登録、10月から開始	2
カナダ大使館主催・カナダ出版セミナー	2

造本装幀コンクール公開展示 書店フェア企画リリース！



(一社)日本書籍出版協会・(一社)日本印刷産業連合会が主催する第54回造本装幀コンクールは、9月22日～11月末まで、出版クラブライブラリー(千代田区神田神保町1-32)にて、公開展示を開催する。

過去2回は10月下旬に神保町で行われる「神保町ブックフェスティバル」の期間中(例年3日間開催)に東京堂ホール(東京堂書店神保町店6F)で開催していたが、新型コロナウイルス感染症による会場確保が困難だったため、今年の公開展示は出版クラブライブラリーで期間を約3か月とり、感染防止対策を行なった上で開催することを決定した。公開展示では例年通り、コンクール出品作品が全点展示され、作品を実際に手に取って見ることが可能。ゆっくりと作品を鑑賞することができる。また受賞作品の紹介や審査員の講評が掲載された公式冊子(画面上写真、A5版、80頁)も特別価格税込み1,000円で販売される。

■読者賞

今年は新たな試みとして、一般読者の参加型イベント「読者賞」を実施する。同賞では、審査会時に特に話題にあがった受賞作品以外の応募作品がエントリー参加する。読者賞を通じて、コンクールの認知度を高めながら、コンクール応募作品をより広く紹介し、作品の魅力の発信や一般読者が書店に足を運ぶ機会を創出する。

投票方法は、公式SNS(Instagram・Twitter)での「いいね」投票のほか、展示会場でも読者賞の候補作品を展示・投票ができるようにする予定。

同賞は、[コンクールホームページ](#)でも紹介し、各SNSへもジャ

ンプできる。

「第54回造本装幀コンクール」受賞作品展示・販売フェア

同コンクールでは(株)有隣堂の協力を受け、有隣堂店舗にて「第54回造本装幀コンクール受賞作品フェア」を開催する。ここでは、本コンクールの受賞作品(一部パネルでの展示)が店頭で展示・紹介されるほか、一部の作品が販売される。

本フェアの展開店舗は、伊勢佐木町本店、横浜駅西口ジョイナス店、StoryStory横浜店、StoryStory新宿店、たまプラーザテラス店、アトレ川崎店の合計6店舗。開催期間は9月中旬から10月の間にそれぞれの店舗でフェアがスタートし、各店舗で約1か月フェアが展開される予定。

(問合せ 日本書籍出版協会 Tel 03-6273-7061)

第64回マスコミ倫理懇談会 全国大会中止・分科会はオンラインで

マスコミ倫理懇談会全国協議会(林恭一代表理事)主催の「第64回 マスコミ倫理懇談会全国大会」は、10月21日(木)・22日(金)の2日間、岡山県岡山市にて開催される予定であったが、新型コロナウイルス収束の見通しが立っていない現状等を踏まえ、開催が見送られることとなった。ただし、分科会は10月以降順次、東京からオンラインでの開催を検討している。開催方法等については今後発表される予定。

今大会のメインテーマは、「コロナ禍のいま 伝えるべきこと 伝えていきますか」。分科会は下記の通り。

【報道分科会】

A「新型コロナウイルス報道の検証」、B「実名報道—新たな理論構築に向けて」、C「メディア企業はネットをどう利用するか」、D「相次ぐ大型災害—災害報道、防災報道とは」の4テーマに分かれて開催予定。

【広告分科会】

「新型コロナウイルスと広告コミュニケーション」をテーマに取り上げる予定。

(問合せ 同事務局 Tel 03-3591-3465)

インボイス制度 発行事業者の登録が10月開始

2年後の令和5年（2023年）10月1日から、消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が導入されるのの前に、本年10月1日から適格請求書（インボイス）発行事業者の登録申請が開始されます。

適格請求書（インボイス）を交付できるのは、「適格請求書発行事業者」に限られますが、「適格請求書発行事業者」になるためには、本年10月1日以降、登録申請書を提出し、登録を受ける必要があります。

適格請求書発行事業者の登録を受けるかどうかは事業者の任意ですが、令和5年10月以降、登録を受けていない課税事業者や免税事業者は適格請求書を交付することができないた

め、取引先が仕入税額控除を行うことができなくなります（経過措置あり）。

出版社自身が適格請求書発行事業者になることはもちろん、取引先（支払先）である著者が個人事業者であることが多い出版社にとって、著者の方が課税事業者なのか、適格請求書発行事業者登録を行うかどうかの確認、適格請求書発行事業者ではない方への支払いについてなど、今後、制度が始まるまでに確認することが多くあります。各社におかれましては、計画的に準備を進めていくことをお勧めします。

◆国税庁インボイス制度 特集

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>

◆国税庁インボイス制度の概要

https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice_about.htm

<段階別の準備項目 >

①	制度について情報収集する
②	制度について社内の関係部署へ周知する
③	社内関係部署やグループ企業と対応を検討・整理する
④	取引先と請求書や契約等の記載事項を確認する、登録番号の有無（課税事業者かどうか）を確認する
⑤	システム改修などに着手する

カナダ大使館主催 カナダ出版に関するオンラインセミナー

駐日カナダ大使館広報部主催のオンラインセミナー「Books from Canada! Overview of the publishing Industry in Canada and Japan カナダの出版の概要 フランクフルトブックフェアに向けて」が以下の概要で開催される。

今年のフランクフルトブックフェアの主賓国はカナダであり、昨年から今年にかけて日本では様々なジャンルのカナダの書籍が翻訳出版されているが、今回さらに多くの人にカナダの書籍をより知ってもらうためにこのイベントを実施する。カナダの出版業界、文学、そして、フランクフルトに向けての準備状況などについて、カナダの関係者がプレゼンテーションを行う。日本の出版社はじめ、エージェントなど幅広く出版関係者のオンライン参加を呼び掛けている。

■カナダ大使館主催オンラインセミナー概要

日時：2021年9月22日（水）午前10時～11時
形式：Zoom ウェビナー

申込先：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_varE3kycRzWhAQy52skU7w

プログラム（日英同時通訳付き）：

1. カナダ大使館広報部 挨拶
2. マット・ウィリアム氏* によるプレゼンテーション
出版業界の概要、カナダの文学、作家、ジャンルの紹介、カナダの子供の本・絵本について、今年のフランクフルトでの主賓国プロジェクトの紹介
3. 日本書籍出版協会によるプレゼンテーション
フランクフルトブックフェアでの日本ブースの紹介
4. 終了の挨拶

* マット・ウィリアム氏 略歴

トロントにあるHouse of Anansi Press / Groundwood Books社のオペレーション担当副社長。カナダ出版社協会（Association of Canadian Publishers）の元会長で、現在はフランクフルト・ブックフェア主賓国としての参加を支援する業界団体、CanadaFBM2021の副会長を務めている。

事前質問の受付／本件問合せ先

カナダ大使館文化担当 清水 ※以下「◆」を「@」に変換
✉ reiko.shimizu◆international.gc.ca

出版統計

書籍	7月期	前年同月比	1~7月期	前年同期比	書籍出回り	7月期	前年同期比	1~7月期	前年同期比	
新刊点数	5,521点	99.1	40,374点	101.9	推定出回数	5,850万冊	94.4	48,758万冊	98.9	
新刊推定発行部数	2,311万冊	100.0	15,969万冊	103.2	推定出回金額	728億円	97.3	6,063億円	102.3	
新刊平均価格	1,218円	103.6	1,235円	101.9	推定出回平均価格	1,245円	103.1	1,243円	103.5	
新刊推定発行金額	282億円	103.6	1,972億円	105.2	実売部数	7月期	前年同期比	1~7月期	前年同期比	
月刊誌	7月期	前年同月比	1~7月期	前年同期比	書	籍	3,346万冊	94.0	31,957万冊	101.1
発行銘柄数	1,803点	95.3	2,408点	96.7	月刊誌	4,850万冊	78.3	40,302万冊	100.2	
推定発行部数	8,479万冊	87.3	66,780万冊	99.2	週刊誌	1,656万冊	83.9	12,791万冊	89.3	
平均価格	684円	103.8	667円	101.7	実売金額	7月期	前年同期比	1~7月期	前年同期比	
推定発行金額	580億円	90.6	4,454億円	100.8	書	籍	427億円	95.4	4,113億円	103.8
週刊誌	7月期	前年同月比	1~7月期	前年同期比	月刊誌	329億円	81.0	2,660億円	101.9	
発行銘柄数	74点	100.0	79点	100.0	週刊誌	65億円	85.7	493億円	91.8	
推定発行部数	3,011万冊	90.9	22,314万冊	93.3	実売金額合計	821億円	88.3	7,266億円	102.2	
平均価格	406円	102.8	397円	103.1						
推定発行金額	122億円	93.4	886億円	96.1						

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[提供 出版科学研究所 (Tel.03-3269-1379)]

INFORMATION

■BOOK EXPO 2021秋の陣

日時：9月15日(水) 11時~18時
 会場：グランフロント大阪(北館B2F) コングレコンベンションセンター
 内容：関西圏やその周辺地域の書店・販売会社・出版社が一堂に集う書店向け商談会。
 問合せ：同事務局 (Tel. 03-5211-7282)

■第54回造本装幀コンクール公開展示

日時：9月22日(水)~11月30日(火) 予定
 会場：出版クラブライブラリー(千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル内)
 内容：第54回造本装幀コンクール受賞作品をはじめ、461点すべての応募作品が展示される。受賞作品の紹介や審査員の講評が掲載されている公式冊子も販売される。
 問合せ：日本出版クラブ (Tel. 03-5577-1771)

編集後記

当協会主催の造本装幀コンクールの公式冊子が出来上がりました。今までの記録としての冊子から、今年はデザイン重視の冊子にリニューアルし、ガラッと雰囲気が変わっております。展示会場でも販売しておりますので、ぜひ手に取ってご覧いただけたらうれしいです。また、受賞者に贈る楯と賞状もデザイン重視にリニューアルしました。楯は本を意識した作りになっております。こちらも受賞者の方に喜んでいただけたら嬉しいです。(吉・あ)

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人：樋口清一

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

TEL : 03-6273-7061

FAX: 03-6811-0959

Web サイトもご覧ください

<https://www.jbpa.or.jp>